

### 2018 年春の花粉飛散予報 (第 3 報)

東北の飛散量は前シーズンの 2 倍、関東甲信、四国では 1.5 倍

#### 1. 各地のピーク予測

スギ・ヒノキ花粉の飛散量がピークになる時期は、花粉シーズン中の気温や予測される総飛散量と関係があると考えられます。2 月、3 月の気温は北日本では、ほぼ平年並みか高く、東日本、西日本ではほぼ平年並みの予想です。ピーク時期を早めるほどではないため、スギ・ヒノキ花粉それぞれのピーク時期は例年並みの見込みです。

#### 2. 各地の花粉飛散傾向

2018 年春の花粉飛散予測は、東北から近畿、四国地方までの広い範囲で、前シーズンの飛散量を上回る見込みです。

#### 3. 2018 年花粉飛散開始時期

1 月下旬から 2 月は、北日本では、平年並みかより高く、東日本と西日本は平年並みの気温となるでしょう。この時期の気温が平年より高いとスギ花粉の飛散開始は早まる傾向となりますが、大きく早まることはなく、おおむね例年並みとなる見込みです。(2 月上旬に九州、中国、四国、東海、関東地方の一部から始まる見込みです。)

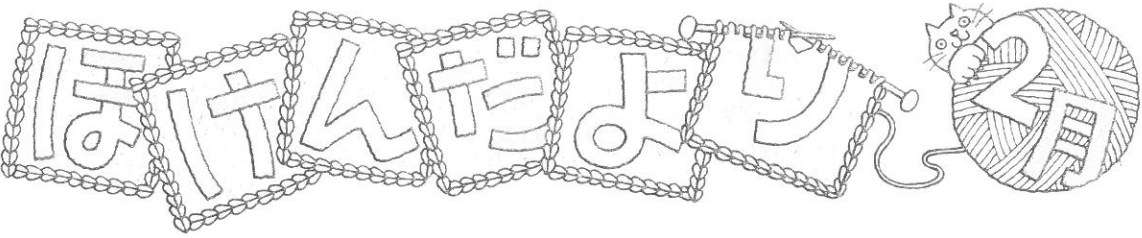
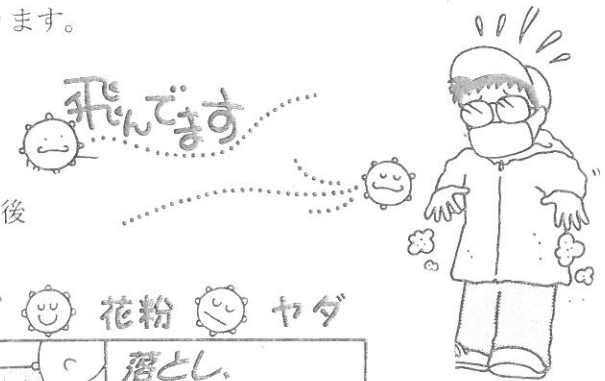
日本気象協会の花粉尘散予測から

#### 4. 花粉症対策 . . . . . 備えあれば憂いなし

花粉症対策の基本は、とにかく花粉を避けることです。髪の毛に花粉がつかないように帽子をかぶる。目に花粉が入らないようにメガネをかける。鼻から花粉が入り込まないようにマスクをつける。外出時はなるべくツルツル素材のコートを着て服に花粉がつくのを防ぐ。

※こんな日は花粉が特に多くなります。

- 気温が高い晴れの日
- 乾燥していて、風が強い日
- 雨が降った日の翌日
- 気温の高い日が 2~3 日続いた後



2 月 4 日は立春でした。暦の上では春を迎えましたが、まだまだ、寒い日が続いています。

厚生労働省が 1 月 26 日にまとめたインフルエンザの発生状況によると、全国の推計の患者数は約 283 万人で、調査を始めた 1999 年以来最多となりました。

本校でもインフルエンザに罹る人が多く出ました。現在はインフルエンザも落ち着いてきましたが、今度はいよいよ花粉症のシーズンを迎えます。

早めに花粉症の対策をし、今年度残り少ない学校生活を元気に乗り切りましょう。

### 今月の今日は何の日

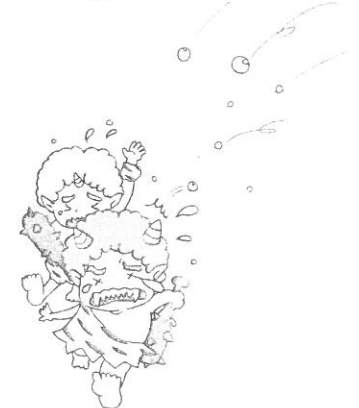
#### 2 月 3 日 (節分)

節分とは、本来「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日に 1 年に 4 回あったものですが、日本では立春は 1 年のはじまりとして、とくに尊ばれたため、次第に節分と言えば春の節分のみをさすようになっていったようです。

立春を 1 年のはじまりである新年と考えれば、節分は大晦日にあたります。平安時代の宮中では、大晦日に旧年の厄や災難を払い清める行事が行われていました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い出す行事へと発展し、民間にも定着していきました。

皆さんは、2 月 3 日節分の日に豆をまいてどんな悪い鬼を追い払いましたか。

前シーズン比  
**2018 年の花粉の飛ぶ量は?**  
(スギ+ヒノキ 北海道はシラカバ花粉)  
 前シーズン:2017年 2018年1月16日発表



#### からだ

- ・くたくたになってもゲームを続ける
- ・いつまでもダラダラと起きている
- ・好きな物しか食べない

#### 心

- ・友だちの悪口やかげ口を言う
- ・仲間はずれにする
- ・いじわるや乱暴なことをする

からだと心の「鬼は〜外!」

「鬼は〜外!」で、元気で楽しい毎日呼びこもう!